

広報

No.661

小さくてもきりと
光る美しいまち

発行 下 諏 訪 町
編集 総務課
情報防災係

〒393-8501
長野県諏訪郡下諏訪町4613-8
☎ 0266-27-1111
FAX 0266-28-1070
下諏訪町ホームページアドレス
<http://www.town.shimosuwa.lg.jp>
E-mail=jyoho@town.shimosuwa.lg.jp

mee mee center Sumeba 1周年!!



★地域の方にもご利用いただけます★

御田町にある移住定住の活動拠点mee mee center Sumeba（ミーミーセンタースメバ）が2月で1周年を迎えました。

この1年でスメバには多くの方が訪ねてきてくれ、また様々な活動を行ってきました。その活動を担ってきたのが去年4月に「地域おこし協力隊」に就任した小林由香里さんと綿引遥可さん。
スメバを拠点に活動を続けてきた「地域おこし協力隊」のお2人に、日々の活動内容や下諏訪に来て感じていることなどをインタビューしましたのでご紹介します。



小林由香里さん 綿引遥可さん

わたしたちが地域おこし協力隊です。

◇小林由香里さん（こばやしゆかり）

【出身】塩尻市

【下諏訪町でのお気に入り】

温泉最高！児湯、湖畔の湯によく行きます！諏訪湖から見える富士山が一番のお気に入り。

◇綿引遥可さん（わたひきはるか）

【出身】茨城県

【下諏訪町でのお気に入り】

八島湿原！暖かい季節に2ヶ月に1回は行っていました。あんなに大自然にふらりと行けるのは魅力的！



Facebook
もチェック！

ミーミーセンタースメバ



Q. 「下諏訪町が好きだから。」



各種移住のイベントに参加。下諏訪の魅力発信しています。

Q. 隊員に応募したきっかけは？

小 長野に戻ってきた理想があったので、そのタイミングで知人から下諏訪町で協力隊の募集があることを紹介してもらったんです。下諏訪町には以前からよく遊びにきていて、マサヤゲストハウスとか。良いまちだし、好きなまちだったので何か力になれればと思に応募しました。

綿 スメバのリノベーションツアーに参加したのがきっかけ。それまで下諏訪町のことを知らなかったんですが、地元の方がやさしくてあたたかくて。短い滞在だったけどまちのあたたかさを感じて下諏訪町が好きになったんです。ちょうどその時期に協力隊の募集があって、しかも自分でリノベーションしたスメバの運営にも関わられる。私もこのまちの仲間になりたいと思って応募しました。

Q. 日々の活動内容は？

基本的にはスメバで来客対応をしています。一日平均だと5人くらいかな。(不確定ですが...) やっぱ平日は少なく、土日にお客さんが多いです。

来てくださる方は移住相談の方だけではなく、観光にきた方も立ち寄ってくれます。ここなんだろうって覗き込んでくれるので「どうぞ〜」って。あと嬉しいのが、最近スメバを直接目的として訪ねてくれる人が増えてきたこと。移住の相談場所として認知されてきたのかなと実感しています。



「ホシスメバ」のリノベーション
ホシスメバでリノベーションツアーを行っています。参加者はDIY初心者ほとんど。でも3日目には電動工具を使いこなし作業をバリバリ行うように。
※ホシスメバ：星が丘旧防災リハビリテーション長野作業所



「経験は人を変える。経験は自信につながる。」



綿 ここにいるといろいろな人が来てくれます。移住相談の場所ではあるけど地元のおじいちゃんおばあちゃん、あと気になつて来てくれる人もいて東京で働いていた頃は人間関係が希薄だったんです。ここだと思いやりがあって、あたたかい会話が日常的にきちんときけるんです。そこが隊員になつて下諏訪にきてよかったなと感じています。

小 Q. 隊員になつて良かったなあとと思うことは？
いろいろな経験をさせてもらっていることです。下諏訪つてもものづくりのまちじゃないですか。日常生活だとなかなかものづくりに関わる機会がないんですけど、隊員としてホシスメバのリノベーションのものづくりに関わって一つのものを作り出すことは楽しさもあるけどとても大変なこと、できあがっているものはすごく貴重なんだなと感じています。隊員になつて今まで知らなかったことを知れるということがすごくいいんです。

人とのふれあい 心がかよう この"まち"にある「やさしさ」「あたたかさ」どこにでもあたりまえにあることではないんです



何事もいつも実験。とりあえずやってみなきゃ始まらない。



彼女たちは「自分たちの活動をもっといろんな人に知ってもらいたい。そして今よりももっとも地元の人を巻き込んだ活動をして、一緒にこのまちを良くしていきたい。」と話します。笑顔が素敵で何事にも精力的なお2人の活動に協力するとともに、私たちひとりひとりが積極的に「まちづくり」に参加していきましょう！
クローズアップ5月号から協力隊の活動を紹介していきますのでぜひご覧ください。